

1976年に創業した「東急ハンズ」の名前には、
大量生産・大量消費時代への警鐘として、
生活者が自らの「手」でライフスタイルを創造する、という想いが込められていました。
壊れたら買い換えるのではなく、修理して使う。
専門的なツールやサービスを通じて、健やかな暮らしを自ら作り出す。

こうした想いはこれからも変わりません。

あれから半世紀。
インターネット時代へ突入し、人々のアタマとココロは情報で満たされ、
「手」はスマホを握るだけの役割になりつつあります。
だからハンズは、「手」を再定義します。

新しい何かに「手」で触れることで、
視野や思考が広がり、気づきが生まれ、日々の好奇心が刺激される。
そして、他者や社会と繋がる体験価値をもたらしてくれる。
それはまるで、アタマとココロの「手」を伸ばすようなもの。

DIYやクラフトといった、単に手を使うことを超えた、
アタマを拡張させる「手」、ココロを拡張させる「手」として再定義します。

今までできなかったことが、できるようになったり。
日常生活に、ちょっとした特別な瞬間を見出せるようになったり。
人にも地球にも優しい、丁寧な暮らしを整えたり。

過去を継承しながら、次へと繋げていく。

「手」でソウゾウしよう。

「手」でワクワクしよう。


HANDS

